

「神戸第2 地方合同庁舎耐震改修工事見学会」 参加者 16名

建物概要

施設名称	神戸第2 地方合同庁舎本館	建築面積	1,986.91 m ²
所在地	神戸市波止場町 1-1	延床面積	23,693.32 m ²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階 地上11階・塔屋2階	改修工事設計者	(株)大建設計
		改修工事施工者	戸田建設(株)

改修概要

・24時間業務可能な居ながら改修

主入居官庁の第五管区海上保安本部は瞬時の業務停止も許されない為、24時間居ながら改修が求められる。

そこで上部構造の補強を行う事なく耐震化が可能な免震工法が採用されている。

・津波にも機能する災害応急対策活動拠点

津波・高潮で浸水した場合を想定し、電気受電設備と非常用発電設備は安全な屋上に新設更新される。

基準免震高さは最大津波想定高さより上部に設置し、水没しないように配慮されている。

・既存施設を有効に利用する1階柱頭免震

海に接し、地下水位の問題から基礎や地下2階の免震は高コストで施工難易度も高い。

3階や地下1階免震では執務空間や駐車スペースが減少するために適さない。

現場事務所にて全体概要の説明を受け、2工区に分かれていた東側の場内の見学を行なった。

- ・ 中間免震工法の特徴である、柱・壁等垂直材は1階の中間ですべて水平方向に切断されているのが確認できた。
また1階までのエレベーターピットが2階より吊り下げられる状況であった。
- ・ 柱切断時の借受ジャッキの荷重導入管理状況、免震装置に対するプレロードの状況、免震装置の取付け状況など後付け中間免震ならではの工程を見学できた。

今回は大建設様、戸田建設様の御協力による構造的にも珍しい中間免震による耐震改修の現場見学であった。

この紙面をお借りして当日、説明及び案内をして頂いた関係者の方々にお礼を申し上げます。

